



全村博物館構想は、身の周りにある良いものをみんなと一緒に探して、学んで、この村で楽しくやっています。という活動です。



はゞき木館を訪れたカケス。

撮影：はゞき木館

【発行】

阿智村役場 協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL0265-43-2220
kyodo@vill.achi.lg.jp

2019年3月20日

「中馬ぬくもり街道ひな祭り」に参加しました

4月3日まで開催中の「中馬ぬくもり街道ひな祭り」において、「ひなカフェ」と「水引体験」を行いました。村内から有志が集まり、訪れる人に楽しんでもらおうと企画しました。



17日はオペラやピアノなどのコンサートが開催され、多くの人で賑わいました。



カフェやフリーマーケットも行いました。旧銭湯「玉の湯」での水引体験の様子。

旧銭湯「玉の湯」では4月3日まで毎日、午前中にコーヒーと柿チョコを楽しめる銭湯カフェを開催しています。また、31日（日）には上町主催のお祭りが行われます。地区外の方の参加大歓迎とのことです。

*上町祭り

日時 3月31日（日）10:00～13:00

場所 上町集会所 五平餅、串焼など



社教研分科会NEXTを実施しました

2月28日、地域づくり・自然歴史文化分科会NEXTを実施しました。2月10日に実施した阿智村社会教育研究集会当日に話しきれなかったことをもっと話そうと、9人が集まりました。話は多岐にわたりましたが、メインテーマは「若い人が地域に関わるにはどうしたらいいか？」となりました。「意見を聞く姿勢が地域に必要なではないか」「子連れでも安心して参加できるための工夫や意識の変化が必要」といった意見がありました。

古地図学習会を実施しました

江戸～明治時代の阿智村に残る古地図をパネルにし、パネルを使っての学習会を智里西、清内路、伍和、浪合の各地区で実施しました。江戸時代、山や水の利用をめぐる村同士が境を確認するためにつくられた地図などを通し、当時の暮らしぶりを学びました。

神社や橋など今と同じ場所にあるものも地図に多く描かれており、参加者のみなさんは今の様子と当時を比べて盛り上がっていました。



写真「あちの今」No.2

熊谷元一氏の写真と、現代の比較

1953（昭和28）年
阿智村駒場開田

2018（平成30）年
阿智村駒場開田

田植えの時期はもう少し先ですが、そろそろ準備を始める方もいるかもしれません。

昔は代かきをするのに牛を使っていた家も多くありました。左側の写真の2人は学生服を着た青年と子どもです。子どもも家族にとって重要な働き手だったことが伺えます。

熊谷元一 撮影



現代は機械化が進み便利になると同時に農業の担い手が減り、高齢化が進んでいます。これから先の阿智の農村風景は、どんな風になっていくのでしょうか。全村博では熊谷元一氏の写真の活用と同時に、現代の阿智村の農村風景を記録していこうと考えています。

染織プロジェクト、始動！

来てね

このプロジェクトは、阿智村の宝のひとつ「自然」をテーマに、阿智で育った草木で、阿智で育った綿や繭を染めて楽しく活用することを目指しています。

【草木染め】と【裂き織り】、それぞれ年5回程活動する予定です。詳しい内容や予定は参加する皆さんと決めていきます。

身近にあるものを使って、日々使うものを作る。そんなていねいな時間に、参加してみませんか？まずは草木染めガイダンスを開催します。

去年は村内で採ってきたクルミ・セイタカアワダチソウなどでストールや靴下などを染めました。



第1回草木染め「草木染めガイダンス」
(みんなで相談する会)

日時：4月16日(火) 10:00~

場所：中央公民館 会議室3・4

裂き織りは5月14日10:00~の予定です

東山道・園原ビジターセンターは>き木館

来てね

写真展「阿智村 春の風景」

は>き木館で3月30日より写真展「阿智村 春の風景」が始まります。村内外の20名が撮影した阿智村の写真を展示します。

阿智村のとおきの春を観に来てください。



写真展「阿智村 春の風景」

日程：2019年3月30日(土)~5月12日(日)

時間：9:30~16:30

観覧無料・火曜定休

聞き書き報告交流会

来てね

を開催します！

戦前~現代を中心に阿智村の暮らしぶりなどについて話を聞き文章にまとめる「聞き書き」を行ってきました。今回はその報告と、聞き書きを行った感想や意見交換を通して、これからの地域や自分の生き方を考えます。

誰でもご参加いただけます。ぜひ聴きにきてください。



「聞き書き報告交流会」

日時：2019年4月20日(土) 14:00~

場所：中央公民館 2F 会議室3・4

講師：大門正克氏(横浜国立大学大学院教員)

報告：『駒場の昭和初期の衣食住』
『地域住民として生きる』他

(タイトルは変わる場合があります)

全村博・認定地域資源

水仙が見頃を迎えます

来てね

浪合地区の佐々木光信さんは、畑で約30年前から水仙を育てています。今では30種以上、約3万株になりました。見に来た人が「きれいだね」と喜んでくれることが嬉しく、この水仙畑で「人と人を繋ぎたい」「来た人とお茶を飲みながら話したい」との思いで続けているそうです。

浪合地区・宮の原(浪合神社の手前)にあります。道路端の手作り看板が目印です。近くにある「御所桜」もぜひ。



今年度から、阿智村と阿智村で暮らす皆さんの魅力を広く伝えようと、全村博だよりの発行を始めました。1年間様々なヒト・モノ・コトに出会い、学び合う楽しさを感じ、『この魅力をもっといろんな人に伝えたい!』という思いが日々強くなっています。

4月からも全村博は皆さんと一緒にさまざまな取り組みを行っていきます。来年度もよろしくお願いたします。

あなたの「やりたい」気持ち、いつでも待っています！

全村博事務局：大石、若林

だいたい毎日...? 更新中! チェックしてね!

#全村博 #だけじゃない阿智

阿智村 全村博

